

令和6年度 学校関係者評価 報告書

令和7年 1 月

学校法人 康学舎
横浜中央看護専門学校
学校評価委員会

令和6年度 学校関係者評価報告書

学校法人 康学舎
横浜中央看護専門学校
自己点検・評価委員会

横浜中央看護専門学校 自己点検・評価委員会が実施した令和6年度自己点検・自己評価結果に基づき、下記により開催した学校関係者評価委員会における審議結果を、以下の通りご報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員

委員長	横浜鶴見リハビリテーション病院 看護部長	戸嶋 睦
委員	横浜相原病院 事務長	坂本 賢一
委員	笠のぞ稲荷神社 宮司	小野 和伸
委員	横浜中央看護専門学校 学生保護者	白井 玲子
委員	横浜中央看護専門学校 卒業生	村上 朋恵
(社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 愛育病院 看護師)		

2 学校評価委員(教職員)

横浜中央看護専門学校	学校長	林 勝枝
横浜中央看護専門学校	副学校長	土江 順子
横浜中央看護専門学校	副学校長	中村 峰子
横浜中央看護専門学校	事務長	楫野 俊彦
横浜中央看護専門学校	学科長	木塚 希実
横浜中央看護専門学校	副学科長	西浜 佳子
横浜中央看護専門学校	副学科長	久保 陽子
横浜中央看護専門学校	副学科長	鈴木 聖子
横浜中央看護専門学校	事務部 係長	斎藤 有紀

3 学校関係者評価委員会

(1) 第6回委員会

- ① 日時 : 令和7年1月9日(木) 14:00~15:30
- ② 場所 : 横浜中央看護専門学校 5階大会議室2
- ③ 会議概要
 - ・ 本年度重点目標並びに事業計画説明
 - ・ 本年度 自己評価項目の説明
 - ・ 本年度 自己評価内容についての報告
 - ・ 上記内容に対する意見や提案
 - ・ 総評

4 評価指標

(1) 自己点検・自己評価

- ・ 評価項目について、教職員が4段階で自己評価を実施。
4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切

(2) 学校関係者評価

- ・ 自己点検・自己評価が適切になされているかを、4段階で評価。
評価人数を割合で表記する。
4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切

5 評価結果

(1) 評価日及び評価者

- ① 評価日 : 令和7年1月23日(木)
- ② 評価者 : 5名(戸嶋、坂本、小野、白井、村上)

6 評価項目ごとの審議結果

評価項目1 教育理念・目的・目標				
評価の視点 1－1. 学校の教育理念・教育目的は周知されている。 1－2. 育成すべき人材像等を含む教育目標が周知されている。 1－3. 理念・目的・目標・育成人材像や特色などが学生、保護者等に周知されている。				
〈現状の取組状況・課題等〉 1－1. ・教職員へ入職時に、学生便覧をもとに説明を行っている。 ・年度末に各領域看護学・委員会・学年担当の評価修正および次年度の方針作成時に教育理念・教育目的と照合しながら行っている。 1－2. ・「アドミッションポリシー」「カリキュラムポリシー」「ディプロマポリシー」の3つのポリシーを公表し、学生・保護者・受験生に周知している。 ・3つのポリシーには、医療者としての倫理観や人間性を養い、対象となる「人」の理解、科学的に看護をとらえる力、看護師役割・責任、チームの一員、専門職としての自覚と自己成長等を含んでいる。 ・年度末に各領域看護学・委員会・学年担当の評価修正および次年度の方針作成時にカリキュラムポリシーと各学年に応じた目標と照合しながら行っている。 1－3. ・学校説明会時に参加者に対して、説明を行っている。 ・保護者等には3月の入学前オリエンテーション時に伝えている。また入学生には初年次セミナーで説明をしている。				
学校関係者評価				
評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	4	1		
〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉 特記事項なし				

評価項目2 学校運営

評価の視点

- 2-1. 教育理念・目的・目標等に沿った運営方針を策定している。
- 2-2. 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されており、有効に機能している。
- 2-3. 人事・給与に関する制度が整備されている。
- 2-4. 教育活動等に関する情報公開が行われている。
- 2-5. 情報システム化等による業務の効率化が図られている。

〈現状の取組状況・課題等〉

- 2-1. ・教育理念・目的・目標に沿った、学校運営方針を毎年学校運営会議で再検討・策定し、学校法人康学舎理事会・評議委員会を経て決定している。決定した方針に関しては、年度初めに管理者から各部署の職員に説明を行っている。
- 2-2. ・学則第14・15条、会議に関する細則、委員会規定に則り、学校運営や委員会運営を行っている。会議の内容については議事録を記録し、職員間のグループウェア上にデータで共有している。
- 2-3. ・上尾中央医科グループには、全職種の人事・給与制度があり、それにおおむね従っている。制度については、採用面接時に説明している。
・毎年4月の定時昇給時、7月・12月の賞与支給時期に各部署の管理者(教員は学校長・副学校長、事務は事務長)と各個人が面談し説明している。説明内容については、人事評価に関するフィードバックも含まれる。
- 2-4. ・学校ホームページ上の「情報公開」ページにて、本校の教育活動に関する情報を掲載し、広く公開している。
- 2-5. ・学籍管理システムを導入し、IC学生証をタッチすることで出欠を管理している。また、各教職員のスケジュール・会議の議事録等はグループウェアを利用し、共有している。
・上記に加え、学校ポータルサイトを導入し、学生・保護者・職員間の連絡ツールとして活用している。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	4	1		

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

特記事項なし

評価項目3 教育活動

評価の視点

- 3-1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されている。
- 3-2. 教育理念等を踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間は適切に確保されている。
- 3-3. 職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が行われている。
- 3-4. 授業評価を実施し評価体制を確立している。
- 3-5. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準が明確になっている。
- 3-6. 資格取得に関する指導体制が、カリキュラムの中で体系的に位置づけられている。
- 3-7. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保している。
- 3-8. 職員の能力開発のための研修等に参加している。

〈現状の取組状況・課題等〉

- 3-1. ・指定規則を基準とし、人間理解、人体の構造と機能、病気と治療、基礎看護学、各領域看護学と体系化し、講義・演習実習と構築し実施した。年度末には、領域ごとに見直しを行い、教務会議を通して、教育理念・目標等の再確認を行っている。
・講師会議を対面にて4月に実施し、教育方針および講義方法・学生状況等を伝えた。また、参加されなかった講師には、カリキュラム委員・学年担当から初講時に説明を行っている。
- 3-2. ・カリキュラム構造図をもとに各科目を順次組み入れ進めている。
・11月～年度末に、カリキュラム委員会・各領域と連携しシラバス、進度時期の見直しを実施している。
- 3-3. ・1年次に、看護学生として学ぶ意義を考え目的意識を高めること、医療従事者として必要や接遇やマナーを理解し行動できるための基礎を養うこと、人間理解(自己・他者)を目的とし、3つの科目「初年次セミナー」「医療従事者に必要な接遇とマナー」「人間関係論Ⅰ」を設定した。
・2年次に戴帽式を行い、将来のビジョンをより明確にする。
・2・3年次には実践者になる自分を明確に思い描けるように、将来の自分を設計する講義を認定看護師に依頼し、行った。
・認知症サポート養成講座を講義に含め行っている。
- 3-4. ・講義及び実習の評価は、科目の講義終了時にWebポータルサイトを通じて、行っている。
また、非常勤講師には結果を送付している。授業評価の結果を参考に、講義方法や演習を組み入れる等の工夫を行っている。
- 3-5. ・単位認定試験及び評価については、学生便覧に学則と履修要綱について示している。
C(60点)以上を合格としている。
・試験問題・解答用紙の返却をせず、ポータルサイトで点数のみを公開している。
- 3-6. ・基礎看護学、各領域看護学、統合分野の流れを講義・臨地実習を組み入れている。
・新型コロナウイルス感染症は5類に移行したが、実習先での感染拡大の影響により、一部の実習が学内での実施となった。
- 3-7. ・各科目に適した経歴及び有資格者や、実習施設でも臨床指導者講習修了者または準ずるものを選定し配置している。
・専任教員で未資格者の場合は、毎年1～2名講習会へ受講を促している。
・次年度1名が教員養成講習会受講予定である。

- 3－8. ・年度末に研修計画書を提出、希望の研修に参加できるようにしている。また、年間 2～3 回の管理職との定期面接時に、本人の将来の希望と学校側の要望をお互いに確認し、必要と思われる研修参加を促している。
- ・研修会参加後は、報告書を提出、必要時に伝達講習を行っている。また、研修内容をもとに講義・演習、実習、学生との関わり方等に反映している。
- ・8 月に外部より講師を招き、全教員対象の合理的配慮・アンダーマネジメントに関する研修会を実施した。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	3	1	1	

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

特記事項なし

評価項目4 学習成果				
評価の視点 4－1. 就職率の向上が図られている。 4－2. 資格取得率の向上が図られている。 4－3. 留年・退学率の低減が図られている。 4－4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握している。				
〈現状の取組状況・課題等〉 4－1. ・各病院からのインターシップ・就職説明会の情報揭示 ・インターシップ講座、小論文・面接対策講座について学生委員会が内容を企画し、上記対策講座を業者に依頼し、実施している。 ・各学年で4月に学生へ就職希望調査を行い希望や適性を踏まえ、施設・病院等の助言を行っている。 ・今年度(2025年1月時点)は神奈川県内の就職率が66名中57名決定している。 4－2. ・学力向上委員が主軸となり、入学時から国家試験ガイダンス、模擬試験、国家試験対策を計画的に実施している。 ・各学年に国家試験対策委員を設け動機付けを行っている。 ・3学年でグループ編成し、グループ学習や個別相談によって担当教員がサポートする。 ・Webポータルサイトを通じて、問題と解説の揭示する。 ・国家試験終了後に各領域担当は問題の傾向を分析し、講義・実習に組み入れる。 4－3. ・学力向上委員会が中心となり、試験結果や欠席の状況等をもとに、学生と面談しサポートしている。必要時、カウンセラーを勧め、保護者と面談を行っている。 ・学習環境に早く慣れてもらうため、入学直後に全学年の希望者による交流会を実施している。また、地方出身者の留年・退学率が高くなっているため、1・2年生の地方出身者の交流会も実施した。 4－4. ・就職先の看護部長や教育担当等に、学校来校時や就職説明会や実習でお会いした際に、卒業生の様子等を伺っている。 ・就職先から卒業生の様子の写真等を頂いた際は、2階の「病院からのお知らせコーナー」に掲示し学生へ周知している。また、今年度よりAMGグループ病院に特化した掲示板を作成した。 ・教職員には、グループウェア「サイボウズ」の掲示板に登録し、周知している。				
学校関係者評価				
評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	3	1	1	
〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉 ・地方出身の学生が生活に慣れるのに時間がかかるということだが、自分の経験では寮生活であったため、先輩や同期にすぐ相談できる環境であったことではやく順応できたと感じている。交流会を実施しているとのことなので、継続して学生が相談しやすい環境づくりを目指してほしい。				

評価項目5 学生支援

評価の視点

- 5-1. 進路・就職に関する支援体制が整備されている。
- 5-2. 学生相談に関する体制が整備されている。
- 5-3. 学生に対する経済的な支援体制が整備されている。
- 5-4. 学生の健康管理を担う組織体制が整備されている。
- 5-5. 保護者と連携している。

〈現状の取組状況・課題等〉

- 5-1. ・各病院からのインターシップ・就職説明会の情報掲示している。
 ・インターシップ講座、小論文・面接対策講座を業者に依頼し、実施している。
 ・各学年で4月に学生へ就職希望調査を行い、希望や適性を踏まえ、施設・病院等の助言を行っている。進路未決定者等の取りまとめは、学生委員会が中心となり実施している。
 ・進路相談では、専門領域の教員がサポートしている。
- 5-2. ・スクールカウンセラーを週2回配置し、学生が相談しやすい環境づくりをしている。9月よりメールでの予約も可能とした。
 ・オフィスアワー制度を導入し、学生が望む教員に相談できるシステムを整えている。
- 5-3. ・神奈川県看護師等修学資金・日本学生支援機構奨学金・実習協力病院施設奨学金の他、高等教育の修学支援新制度の対象校として給付型も含め4種類の奨学金制度を提供している。また、こうした修学資金や貸与型奨学金、給付型奨学金について、それぞれ説明会を実施し、希望する学生に申込みから卒業後の手続きまできめ細かく対応している。
 ・社会人経験のある学生が使用出来る専門実践教育訓練支援金について、令和8年度までの3年間対象校となっている。
 ・学校内の自販機の設定料金を若干安くしている。
 ・学生の意見を学校に伝える会での意見を参考とし、学内のコピー機の白黒印刷料金を10円から5円に値下げした。
- 5-4. ・毎年4月に学生・教職員を対象とした健康診断を実施している。また、学生委員会と学年担当が連携し、学生の診断結果に応じ再受診を勧め、結果を確認している。
 ・健康診断等の結果は、健康の記録に各自記載し、学生自身も健康状態を把握できるように努めている。
- 5-5. ・保護者を対象に、3月の入学前オリエンテーションや入学ガイダンスを実施している。
 ・Webポータルサイトの運用活用し、迅速に学生・保護者への情報共有ができる様整備している。ポータルサイト上で、学生の出欠席や成績の確認も可能である。
 ・年2回保護者宛てに学校広報誌をポータルサイトを通じて発行し、学校の様子をお伝えしている。
 ・その他、学生個人のことに必要時、保護者に連絡または面談を実施している。
 ・2年次、3年次においても4月に保護者会を実施した。

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	2	3		

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

- ・先生や家族にも話がしやすいこともあると思う。カウンセリングを利用しやすい環境を目指すのは良いのではないかな。
- ・病院に就職して1・2年目の職員は、自分がカウンセリングを受けるべきなのかの判断ができない、また誰に相談していいかわからない方が多いと聞いている。学生も同じような状況だと思うので、カウンセリングへのハードルを低くすることを検討するのは良いことだと思う。

評価項目6 教育環境				
評価の視点				
6－1. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。				
6－2. 実習施設と連携し教育体制を整備している。				
6－3. 防災に対する体制が整備されている。				
〈現状の取組状況・課題等〉				
6－1. ・指定規則に基づき教材・設備を整備しており、教育環境の充実に努めている。 ・講義用のレンタルパソコンをスペックが高いものに入れ替えた。				
6－2. ・実習前には、説明を兼ねて実習指導者会議を実施している。また、実習終了後も、実習担当者と振り返りを行い、次回の実習に活かしている。 ・今後も、実習指導者や病棟スタッフとの情報共有を密に行っていく。				
6－3. ・年1回防災訓練を実施している。また、災害備蓄品を学校内に保管しており、横浜市の広域避難所として指定されている。 ・Webポータルサイトにて、安否確認機能を採用し、運用訓練を実施予定。				
学校関係者評価				
評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	3	2		
〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉				
特記事項なし				

評価項目7 学生の受入れ募集				
評価の視点				
7-1. 学生募集活動は適正に行われている。 7-2. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報が正確に伝えられている。 7-3. 学生納付金は妥当なものとなっている。				
〈現状の取組状況・課題等〉				
7-1. ・入学試験は、細則・学生募集要項に則り適切に実施している。また、広報活動全般については、広報委員会内で内容を検討し、適切に実施している。 ・学校説明会・個別相談をオンラインで実施し、遠方の受験生の参加ができる環境を提供した。来校型学校説明会のオンライン参加も継続とした。 ・受験生確保のため、今年度より自己推薦入学試験を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け自粛していた学校訪問を再開し、高校の教員の方と直接話をする機会とした。 ・4月に学校ホームページをリニューアル、12月に学校公式インスタグラムを開設し、受験生や保護者への情報発信を強化している。				
7-2. ・学校ホームページ上の「国家試験・就職」ページにて、国家試験合格率並びに就職状況について、情報を公開している。				
7-3. ・学納金に関しては、経営状況等を加味し、県の指導のもと適正な価格を設定している。 ・経営状況については、学校ホームページ上「情報公開」ページにて公開している。 ・学納金の情報については、学校説明会等で受験生に説明している。				
学校関係者評価				
評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	3	2		
〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉				
特記事項なし				

評価項目8 財務				
評価の視点				
8－1. 中長期的に学校の財務基盤は安定している。				
8－2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。				
8－3. 財務について会計監査が適正に行われている。				
8－4. 財務情報公開の体制が整備されている。				
〈現状の取組状況・課題等〉				
8－1. ・本校は、借入れや外部負債等も無く、安定した経営となっている。 ・光熱費の値上げなどの影響を受けているが、新たに英検への施設貸出を増やし対応した。				
8－2. ・年度末までに、各委員会で予算を計上し、その他経費を含めた収支予算書を、会計事務所の公認会計士と学校法人全体で作成している。				
8－3. ・年度毎に、学校法人の業務および各種計算書類について、学校法人の監事による監査を実施している。				
8－4. ・学校法人の情報公開規程を整備し、学校ホームページ等で一般に公開している。				
学校関係者評価				
評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	3	2		
〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉				
特記事項なし				

評価項目9 法令等の遵守				
評価の視点				
9－1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。				
9－2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。				
9－3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っている。				
9－4. 自己評価結果を公開している。				
〈現状の取組状況・課題等〉				
9－1. ・指定規則に則り適正に配置している。また、神奈川県の見習看護士養成所に関する指導調査や、私立学校検査等の際に指導を受けた項目に関しては、適切に改善している。				
・関係法令に則り、施設・設備は整っている。看護士養成所の指導要領に示されている「機械器具、標本、模型及び図書」は品目数量を満たし、登録管理している。また、利用規定をもとに運用している。				
9－2. ・学校で使用する個人情報に関しては、個人情報保護管理規定に基づき適切に管理している。また、個人情報を閲覧できる者を限定する等、漏洩防止に努めている。また、学校ホームページ上に「プライバシーポリシー」を掲載し、受験生等の個人情報漏洩防止に努めている。				
・「個人情報管理に関する運用ルール」「個人情報管理台帳」を整備し、個人情報の管理体制を強化した。				
・実習前後に患者の情報管理について要項をもとに注意喚起を行っている。実習記録は回収し記録室に保管し、卒業後に融解処理を行っている。				
・次年度より外部講師に対しても、学生の個人情報保護のための誓約書の提出を求める。				
9－3. ・教職員の自己点検・自己評価を、毎年実施している。				
9－4. ・自己点検・自己評価の結果については、学校ホームページ上「情報公開」ページにて公開している。				
学校関係者評価				
評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	4	1		
〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉				
特記事項なし				

評価項目10 社会貢献・地域貢献				
評価の視点				
10-1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。				
10-2. 学生のボランティア活動を奨励、支援している。				
〈現状の取組状況・課題等〉				
10-1. ・町内会や保育園の避難訓練時に、本校の施設を開放している。 ・TOEIC や情報処理技術者試験の試験会場として貸出を行っている。 ・神奈川県看護師等養成機関連絡協議会の教育フォーラムの会場として講堂を提供した。 ・障害者地域作業所のパン販売に学校施設を提供することで、売上協力し社会貢献した。				
10-2. ・横浜市の道路美化ボランティア活動・ハマロードを、学生や教職員で定期的の実施し、参加を推奨している。 ・地域ケアプラザ主催のセミナーにボランティアとして有志の学生が参加した。 ・近隣の神奈川小学校にて実施しているかなっこ寺子屋に本校教員がボランティアとして参加した。今後学生も参加していく予定である。				
学校関係者評価				
評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	3	2		
〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉				
特記事項なし				

7 総評

・学生確保の大変さがよく伝わってきた。学校の良さとしてはやはり立地が大きなポイントになっていると思うのでそこをうまくアピールしてほしい。実習病院としても学生確保や就職の面で引き続き協力していきたい。

・中学校で職業講和を行ったのはとても良い取り組みだったと感じる。今後、高校でも同じようなことができると受験生確保に繋がっていくのではないかな。
就職支援等の項目の評定が下がっているのは少し不安ではあるが、1名でも就職につながるよう病院としても支援を継続していく。

・4段階評価で概ね3.4以上の評価を得られており、全体的に評価が高いと感じる。
しかし、「留年・退学率」の項目については3.0以下と低い数値となっているが、学校全体で課題として感じ、対策も検討されているので今後の改善を期待したい。
看護師国家試験の合格率については継続して高い数値を維持しているので、もっと受験生にアピールしていても良いのではないかな。
コロナの影響もあり一時的に看護師希望者が減っているとのことだが、非常に意義のある職業だと感じているため、今後も学校運営に注力していただき、看護師の輩出に努めていただきたい。

・学校を選択するうえでやはり地の利が一番の魅力であった。娘が入学した当時は高校までとは違う講義のスピードなどについていくのが大変な様子であったが、先生方や特に社会人学生の友人のサポートを経て、学校生活に慣れていくことができた。社会人学生の方は学生間でも頼れる存在となっているようである。学生たちからも意見がでていたようだが、定期試験の解答用紙については返却もしくは間違えた箇所を学生たちが知れるよう検討していただきたい。

・昨年に引き続き会議に参加させていただき、今年度からの新たな試みや今の学校の様子をについて知ることができ、とても有意義な機会となりました。